

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市卸町三丁目6番3号
 名称 協同組合秋田卸センター
 代表者 理事長 辻 昭久

協同組合 秋田卸センター

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

協同組合秋田卸センターは傘下組合員とともに、ビジネスの拠点である秋田卸団地(愛称：あぎいいね卸町)において、国連が提唱する持続可能な開発目標である「SDGs」の趣旨に賛同し、「流通の拠点の維持・向上」、「安全・安心・環境美化への対応」、「健康で生き生き働き続けられる職場づくり」に取り組めます。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 (※初回記入不要。1 年ごとに要報告) 初回登録年月日：R3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☒ 経済 ☐ 社会 ☐ 環境	卸団地(愛称：あぎいいね卸町)のビジネス拠点としての価値醸成 ・組合所有駐車場の稼働率アップ ・法律相談の実施 ・簡易郵便局の維持 ・組合会館施設の維持	・駐車場稼働率 90%超 ・相談メニューの拡大 ・来局者 10%増 ・照明の LED 化 ・冷暖房の適正な温度管理	・駐車場稼働率 R5.11 月末で 100%を達成 ・相談実績は累計 12 件 ・照明 LED 化を R3.12 月完了、多目的ホールエアコン令和 5 年 9 月に 3 基更新済み	7 11 13
☐ 経済 ☒ 社会 ☐ 環境	地域における安全・安心、防災拠点として防犯カメラ 4 台設置 組合設立当時から継続している定例清掃や一斉クリーンアップによる環境美化への取り組み	・防犯カメラの維持 ・防災用品の充実～発電機の設置 ・定例清掃(昭和 48 年～継続中)、一斉クリーンアップ(昭和 49 年～継続中)、公園花壇への植栽、草刈、アメリコ駆除	・エアコン更新にあわせ非常用電源装置設置を完了 ・定例清掃を継続(4 月～11 月)8 回実施 ・一斉クリーンアップ 2 回の回収量は令和 6 年度約 85 袋	11 15 3

	循環型社会の構築と社会貢献 ・交通安全協会卸町支部活動を通じた交通事故防止の醸成を継続	など美化運動の継続 ・団地建設当時植樹した桜への施肥により長寿命化 ・紙類等リサイクル事業（令和2年度回収量を1.5倍に増加 ・令和3年9月より実施している使用済ペットボトルキャップ回収を推進しワクチンを贈る ・「あぎいいね卸町」内における交通事故防止に向け看板設置や啓発活動を継続する	・紙類等リサイクル R5年度回収量約 48,000 kg ・使用済ペットボトルキャップ回収事業 R4.4～4.11 まで 368.2 kg R5.4～5.11 まで 608.5 kg R6.4～6.11 まで 955.2 kg 本事業に賛同し支援の輪が広がっている。 ・交通安全のぼり旗を R6.12 月に更新したほか、セブン-イレブン付近に長時間駐車禁止看板を設置した。付近の長時間駐車が劇的に改善した。	
☐ 経済 ☐ 社会 ☒ 環境	「あぎいいね卸町」で働くすべての人の活躍と健康維持を推進	・研修事業の参加率向上 ・インフルエンザ集団予防接種、協会けんぽ生活習慣病検診の接種者増加 ・異業種交流による連携機会の拡大	・インフルエンザ集団予防接種 R5年 373 人接種 R6年 377 人接種 ・健康診断及び協会けんぽ生活習慣病検診を 91 人が受診 ・「社長及び責任者懇談会」を開催、青年部「青草会」例会、支店営業所長情報交換会「蝶の会」を実施	3 4 17

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	